

2020年8月5日

# 1 学期の総括と今後の展望

自修館中等教育学校

川澄 勤

# 総括すると

- 完璧を期すよりも **すぐ行動**
- 周困に助けを求め **仲間をつくる**
- **生徒と**一緒に取り組む

# 3月～4月上旬 学校の状況



1学期の行事予定を見直  
しましょう。  
意見をください。

課題配信のルールは  
こうなります。

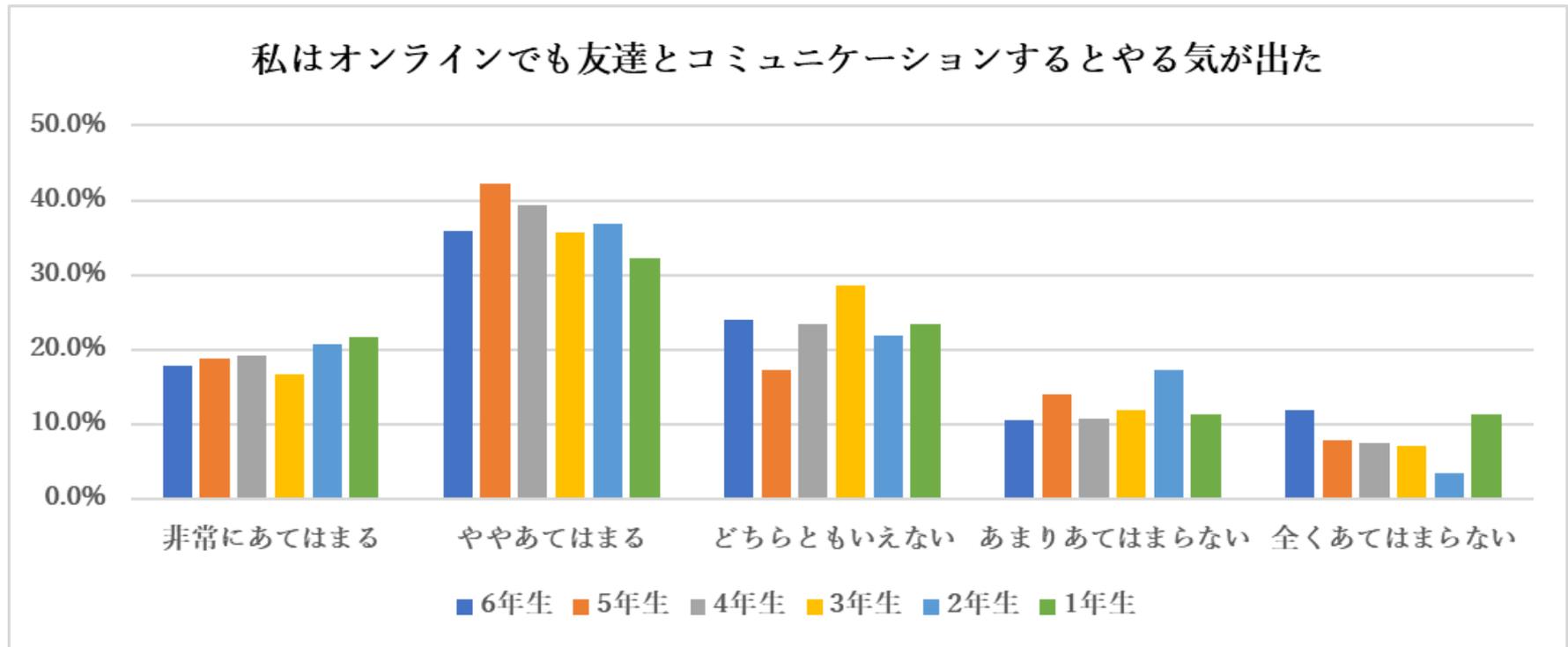


双方向オンラインを使ったサポートについては、全く議題に登場してこない

## 4月上旬～5月末 自分の行動

- ①「生徒の学びと気づき」を最大化するPJに拾われた
- ②PJで得た新たな洞察はすぐに校内に還元し続ける  
「ないよりはまし」～「登校＝課題回収ではない」
- ③Zoomの使い方を自主練し、勝手に授業を始める  
→使い方は、生徒と一緒に試行錯誤
- ④少し慣れたので、Zoomの使い方を周囲と共有  
→オンライン授業にストップはかからないが…
- ⑤双方向オンライン授業に取り組む仲間を増やす
- ⑥所属学年では朝のHRも行うように理解してもらう
- ⑦スプレッドシートを使って、授業の内容を共有  
→改善案・生徒の様子・お互いの悩みも共有

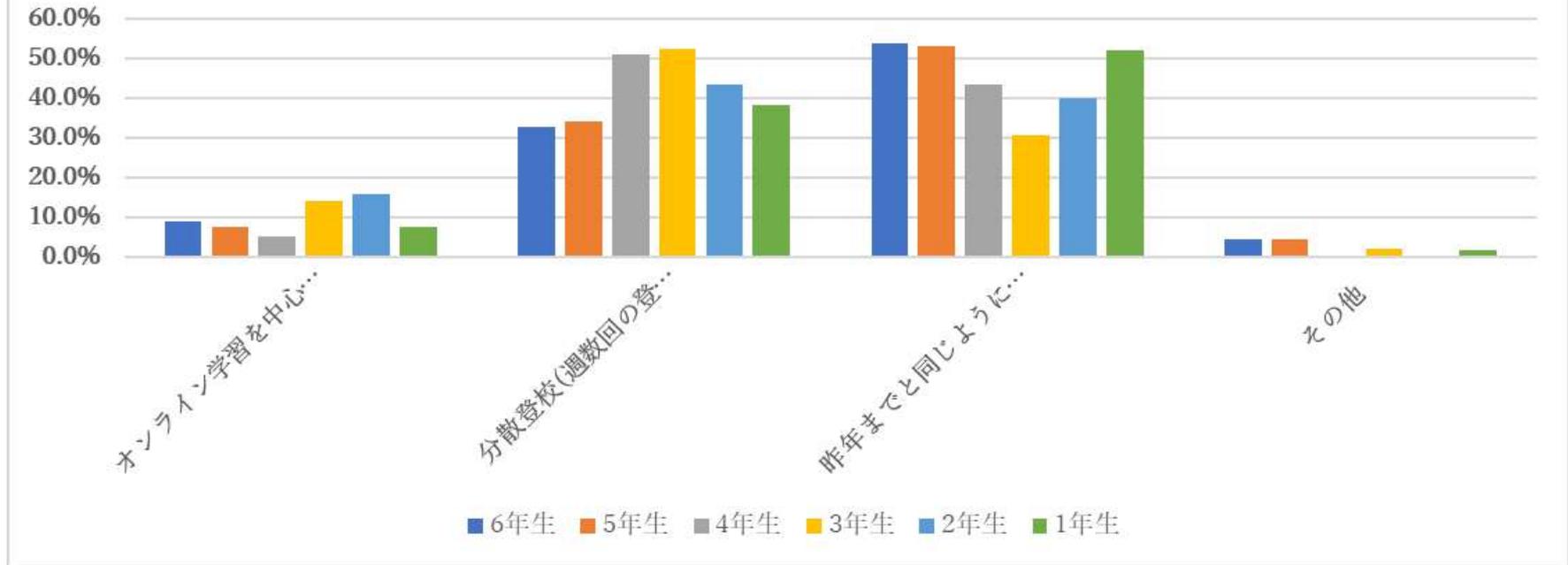
# 6月のアンケート結果(生徒)



(授業だけでなく) 雑談の時間が必要だった？

# 6月のアンケート結果(生徒)

コロナウイルスが落ち着いたら、  
あなたは学校でどのような学び方をしたいですか



オンライン学習、自宅学習を希望する生徒が多い？

# ハイブリッドを選ぶ生徒のコメント

- ・タブレットの使い方を学べるし、登校することで、友達も増えて良いと思った。(1年生)
- ・自宅学習にも登校にもメリットがあると思う。(2年生)
- ・コロナが収束しても新しい生活様式を送る必要があると思う。(3年生)
- ・自宅学習の日は、自分のペースで復習に取り組める時間ができる。(4年生)
- ・分散登校の方が予定に振り回されずに自分のペースを保つことができ、時間にも余裕が生まれるので、より多くのものに挑戦したり熱中したりすることができる。(5年生)
- ・一日間隔の登校を体感して思ったのですが、すごく楽で良い気持ちです。学校に行って授業を受け、それによって今すぐやるべき課題を見つける。次の日はその課題を自宅で解決する…。(6年生)

**生徒は、自分で学べるようになりたい！**

# 6月は振り返りと第2波に備える

- 教員、生徒、保護者の順番でアンケート

教員の声

→生徒の主体的な学びが大事だと実感した

生徒の声（効果的だと感じたこと）

→朝のHR リアルタイムの授業 小テスト

保護者の声（効果的だと感じたこと）

→朝のHR 6時間の授業 リアルタイムの質問

- チャットアプリ「Slack」で仲間と情報を共有

# 次の自宅学習期間に向けて

- 学びのサポートの前に、生徒同士のつながり
- 生徒の主体的な学びを支える授業展開

新学習指導要領（新課程）への移行を考えれば、生徒に求めたい「学び」は、（講義型を通じて）知識を暗記・再生することを重視するものではなく、教科の「問い」に従って、自ら考え、知識を習得、活用、探究していくものとなる。

→そうした授業をオンラインでも実践できるように、普段の（通常）授業から、習得・活用・探究の学習場面を設定し、段階的に、主体的・対話的で深い学びになるような授業展開を考えていくことが必要となる。

授業は、講義が軸ではなく、やり取り（質疑応答を含む）に重点を置くことに留意。教師と生徒（および生徒同士）のやり取りが成立すれば、教師側は生徒の状況把握を進めることができる。生徒は教師や他生徒とのつながりを体感することができる。

# 次の自宅学習期間に向けて

- 学びのサポートの前に、生徒同士のつながり
- 生徒の主体的な学びを支える授業展開
  - 授業中の講義（説明）は10分以内
  - 質疑応答のための双方向オンライン
  - 生徒が雑談する時間を意識的に設ける
  - ⇒ 対面式の授業、  
そして評価方法を見直す動きへ

- 授業は生徒の学びを視る場に
- 少数派でもいいから仲間と挑戦

**自宅学習期間での様々な経験を経て**

**対面の授業をどのように改善していますか？  
(どのように改善したいですか？)**